

行政評価結果および平成30年度における取り組み

基本事業	事務事業	担当部署	行政評価委員会における評価	平成30年度の具体的取り組み (各部署とのヒアリングにおける確認・対応)		事業費 (千円)		
				H29	H30	H29	H30	
I-1-② 子育てへの支援	子育てふれあい交流センター事業	子ども支援	「遊び場」としての機能だけでなく、研修室等の利用方法や子育て相談機能があることを、利用対象者である保育所や幼稚園の保護者を通すなどして積極的に周知していただき、施設全体として子育て相談としての利用の拡大に繋げていただきたい。 <u>また、利用者に対しては、駐車場(駐車スペース)がわかりにくいとの声もあるため、駐車スペースをわかりやすくするなどのより利用しやすい、利用したことのない方へはパンフレットへ利用者の声の掲載するなどして利用しやすくなるPRに努めていただきたい。</u> 遊び場についても、小学生等が体を動かして遊べる設備の充実等を図り、さらなる利用の拡大に努めていただきたい。 また、業務委託等を検討する場合には、相談機能等についての関係機関との連携や個人情報等の管理体制に注意して検討していただきたい。	今後は「子育て世代包括支援センター」の相談窓口のとしての機能を持たせ、相談機能の充実を図っていく。 また、研修室利用のPRや町HPの内容も充実させていく。	12,969	12,249		
	幼保年齢区分け	幼稚園 保育所	この事業の目的である待機児童の解消や、事業の内容である幼稚園での3歳児のスムーズな受け入れについては成果があったものと考えられる。今後は保育所・幼稚園・小学校等の連携や子育て相談も含めた子育て支援の充実について「幼児教育振興事業」の中で取り組んでいただきたい。 また、保護者からは子育て相談等について、より相談しやすい環境があればよいとの要望もあるようなので、子ども課として幼稚園・保育所・子ども支援班が連携し、専門的な知識やスキルの向上や連絡・相談しやすい環境づくりに努めていただきたい。 保護者からの意見や要望については、対応すべきもの・できるものを判断するためにも、町としての幼児教育についての方向性や方針をきちんと示しておくことが必要と考える。	年齢区分け事業は完了とするが、幼保連携、幼小連携等の取り組みは幼児教育振興事業の中で実施していく。	30,058	0		
II-1-① 健康づくりの推進	健康管理センター活用事業	保険年金	利用方法や利用出来る団体等がわかりにくいいため、それらについて積極的に周知していただきたい。利用対象の多くが高齢者であることを考えれば、町ホームページ以外にも施設内に利用方法等についての説明案内板等があれば、利用の拡大に繋がると考える。 また、高齢者向け以外にも、様々な魅力あるソフト事業(高血圧や血糖が高い人向けの講座や、介護している人向けの介護講座、応急処置やAEDの講座など)の展開や、 <u>各地区と連携して地区イベントの発表の場として活用するなどして、利活用の促進を図っていただきたい。</u>	施設のさらなる活用方法を検討し、あわせて利用出来る団体・申請方法・問合せ先等わかるように、施設内への掲示や町HP等で周知していく。	0	0		
II-3-② 交通安全対策	高齢者運転免許証返納事業	危機管理	高齢者の安全と公共交通機関の利用推進の観点から事業は継続していただきたい。今後さらに高齢化が進んでいくことや、実際に免許返納した場合に生活が困難になってしまうことへの対策を考えながら、高齢者のみの世帯など本当に必要な人に対するの助成となるよう取り組んでいただきたい。	免許返納者へのバス回数券の補助は終了とするが、「生活路線バス維持管理事業」における高齢者へのエコノミー券補助の中で取り組んでいく。 また、タクシー会社と連携し、県タクシー協会で行っている免許返納者へのサービスのPRを図っていく。	(4,500)	0 (2,029)		

基本事業	事務事業	担当部署	行政評価委員会における評価	平成30年度の具体的取り組み (各部署とのヒアリングにおける確認・対応)	事業費 (千円)	
					H29	H30
Ⅲ-1-③ 農産物のブランド 化と販路拡大	6次化商品開発促進事業	農林振興	6次化商品開発事業については、農畜産物加工処理施設について適正な受益者負担を求めて継続していただきたい。 「人の駅・川の駅・道の駅」推進事業については町中への誘客につながるイベントの民間企業と連携・活用による展開や、 <u>農産物等の販売については、写真や映像等の活用や実際に店頭に立っての販売を行うなど、顔の見える販売により集客や販売促進につなげていただきたい。</u>	(農畜産物加工処理施設) H29年度に引き続き、「ぼんげ農村加工ネットワーク」への貸し出しを行い、商品開発等のサポートを行う。水道光熱費については受益者負担としている。 (農産物販路拡大事業) インショップや首都圏での販促・販路拡大に取り組む。	518 (5,903)	468 (3,402)
	「人の駅・川の駅・道の駅」推進事業	政策企画	物産販売促進事業は冷やしラーメンが軌道に乗ってきているので、馬刺し等他の <u>物産や農産物、観光等と横断的に</u> 組み合わせながら、「会津坂下町はいいものがある、いいところだ」というイメージをPRしていただき、物産の振興・誘客に繋げていただきたい。	道の駅をブランド活用し、町農産物・物産品の販売、本町の魅力を発信するためのイベント等の開催により、本町の経済・産業振興を図る。	11,000	10,000
	物産等販売促進事業(姉妹都市との物産交流事業)	商工観光		町物産の販路多様化と販売量拡大を図るため、道の駅やふくしま物産館(ミデッテ・コラッセ)での誘客イベント、首都圏インショップによるPR等に取り組む。	1,994	1,657
Ⅲ-2-① 既存企業の育成 支援	企業経営・雇用支援事業 (雇用創出推進事業)	商工観光	企業経営・雇用支援事業については、地元学生の就労支援及び企業としての雇用拡大支援として継続していただきたい。	地元企業の雇用支援として、雇用の確保及び拡大を推進するために新規雇用促進対策補助金を継続して実施する。	950	800
Ⅲ-2-③ 新たな雇用の創出	企業誘致推進事業	商工観光	企業誘致推進事業については、町としては空き工場対策に力をいれていただき、企業誘致は会津全体で取り組むとなれば、町としてはベッドタウンとして移住定住に向けたPRをしていくことも有効と考える。	近隣自治体等と連携し、企業誘致イベントへの参加、企業訪問により、情報交換をしながら、町内の空き工場への新規企業誘致に力を入れて取り組む。	847	860
Ⅲ-2-④ 中心市街地の活 性化	中心市街地活性化事業 (空き店舗利活用事業)	商工観光	商店街の商店の多くが日曜日に閉店しており、商店街の賑いが少なくなっていることについては、各店舗に委ねざるを得ないところはあるが、その中でも、中心市街地の活性化に向けた取り組みとして、 <u>空き店舗を利用するメリットのPRや空き店舗を周知するなどして</u> 、空き店舗を利用したいという方への支援を継続していただきたい。	空き店舗家賃補助金については、H30年度新規分から補助額を町9千円商工会9千円として取り組む。 また、空き店舗バンクの運用についても検討を進める。	724	360
Ⅳ-2-① 快適な都市空間の 整備	空き家対策事業	政策企画 危機管理	開始したばかりの事業なので、今後の成果に期待したい。今後の取り組みにあたっては、家財道具処分の補助や、転入者に対しての県の改修補助等のPR・案内を充実させて、空き家バンクによる空き家の利活用や「おためし居住用住宅」の利用増加に取り組んでいただきたい。	(空き家活用推進事業) 「空き家バンク」を運用し、利用可能な空き家の流通・活用を図りながら、家財道具処分補助等により空き家の利用を促進していく。 また、空き店舗バンクの運用についても商工観光班や商工会等と連携して検討を進める。	500	300
Ⅳ-2-② 住環境の整備と定 住促進	定住支援事業	政策企画	定住支援事業については、まずは会津坂下町に興味を持ってもらうことが必要であるため、町のPR・町を知ってもらう取り組みを実施していただきたい。 出会いの場創出事業については、40歳以上を対象とした婚活支援や近隣市町村と連携した取り組みなど様々な事業を展開していただきたい。また、「婚活パーティー」となると参加しにくくなる傾向があるため、別なイベントの中の一部として婚活を実施するなど、参加しやすい取り組み方法も検討していただきたい。	地方創生推進交付金を活用して、会津美里町と連携した田舎暮らし体験ツアーの実施や、「おためし居住用住宅」の利用促進を図る。 若者定住補助金については、補助金額を見直し(県外100万円、県内50万円、空き家バンク利用物件)、県による上乗せ補助を活用して取り組み、民間住宅家賃補助については廃止とする。	10,355	13,258
	出会いの場創出事業	政策企画 農林振興		結婚相談員による結婚相談活動や、「出会いの場創出事業実行委員会」による婚活イベント等の支援を行う。また、イベントについては男性参加者の募集方法や、様々な形での開催方法等を検討する。	8,114	1,734

基本事業	事務事業	担当部署	行政評価委員会における評価	平成30年度の具体的取り組み (各部署とのヒアリングにおける確認・対応)	事業費 (千円)	
					H29	H30
V-2-① 協働によるまちづくりの推進	協働によるまちづくり推進事業(中学生ワークショップの開催)	政策企画 社会文化	<p>中高生にまちづくり・行政に興味関心を持ってもらうことは重要なことであるため、事業の拡大・充実も検討していただき継続とする。</p> <p><u>今年度は文化祭で発表・報告会を行ったが、より多くの方に聞いてもらえるよう「青少年の主張大会」など、発表の場を変えてもよいのではないかと考える。</u></p> <p>取り組みの内容としては、選挙権の拡大を踏まえた、選挙をとおして行政に関心をもってもらえるような取り組みや、来年度からの第六次振興計画の策定委員になってもらい将来のまちづくりを考えることに繋がるような取り組みをしていただきたい。</p> <p><u>また、小学生くらいから地域づくりをとおしてまちづくりに関心を持ってもらうような参加から参画へとつながる取り組みも検討していただきたい。</u></p>	協働のまちづくりを推進するため、若者がまちを知りまちづくりについて考え活動する機会を設けるため、継続して取り組む。 H30年度については、一般枠1件、中学生ワークショップ1件で実施していく。	300	200
V-2-② 情報共有の促進	行政施策PR促進事業	政策企画	<p>広報の紙面の変更や、町ホームページにおけるイベント情報の掲載数が増加しているなど、取り組みの成果は出て来ていると思われる。しかし、町ホームページに施設の基本情報がなかったり、わかりにくい場合があるため、改善を図っていただきたい。</p> <p>また、町ホームページやフェイスブックは興味がなければ見にくく、更新するほど情報が埋もれてしまうため、メールマガジンの配信のような、とりあえず情報をお知らせし、詳細については必要な人がアクセスする仕組みがあってもよいと考える。また、町ホームページ・広報・コミセンなどより等様々な媒体を利用し、情報があふれている状態をつくることで、情報弱者は減るものと考えている。</p> <p>行政施策をPRし、町民と情報を共有することは、町民から行政に対する評価の上昇にもつながるため、積極的に取り組んでいただきたい。</p> <p>対外的には新聞等のメディアを積極的に活用し、会津坂下町のPRをしていただきたい。</p>	町HP等を随時更新し、積極的に情報発信を行い、町民と情報共有することで住民の行政への関心や満足度を高めていく。また町で実施している行政施策をマスコミ等へPRしていく。	0	0
II-1-④ 医療・介護体制の充実	産婦人科医の確保	福祉健康	産婦人科医の確保については、子育て・少子化・定住等に関わってくる事業である。町として独自の対策は難しく、近隣市町村と連携した国・県へ要望活動が主な取り組みとなるが、その場合も坂下厚生総合病院があることから、町が率先して取り組んでいただきたい。	産婦人科医の確保のため、継続して近隣市町村・関係団体と連携した要望活動等を実施していく。	0	0
V-3-② 職員の人材育成	職員研修事業(姉妹都市人事交流事業)	行政管理	若手職員と町内の若い人との交流や、地域との接点を増やす取り組みを実施していただき、その中でこれからの町をどうしていくか、まちづくりどうするかといったことを考える職員の育成に繋げていただきたい。	自治研修センター研修や姉妹都市の北本市との職員交流研修を実施する。 <u>また、職員の区会・自治会や地域づくり事業等への積極的な参加を促すとともに、第六次振興計画策定における若手職員の参画等を図っていく。</u>	2,499	1,474
I-3-③ 教養・文化・芸術活動の振興	本に親しむ町民をつくる事業	社会文化	<p>本に親しむためには、子どもの頃からの習慣、家庭や学校での習慣作りが大切になるため、家庭での取り組みが重要となるが、そのきっかけづくり、仕組みづくりを行政で取り組んでいただきたい。そういった面で、今年度実施したナイトライブラリーは、これまでの読み聞かせの取り組みから曜日や時間を変更し、新たなきっかけづくりの事業として評価できるものと考えている。</p> <p>本事業については、図書の充実だけでなく、ソフト事業を充実させ図書館の利活用の促進、本に親しむ環境づくりを図っていただきたい。</p>	図書室の利用時間延長、学校図書の貸し出し等、町民が本に親しむ環境を整備する。また、図書検索システムを構築し、学校図書と連携した図書情報の発信を行い、利便性の向上を図る。	3,104	2,840